

同友

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

やまがた

09
2014
SEPTEMBER

山形県中小企業家同友会
月刊同友
やまがた



東北食と農の見学交流会in秋田に参加して

山大連携講座

『山形を元気にする企業家に学ぶ』を終えて

会員増強月間まとめ

第1回増強月間 23名入会! ~全支部で新たな仲間を迎える~

そうだ、
経営を楽しもう。
だから、
本気で向きあおう。

2014年度スローガン

東北食と農の見学交流会 in秋田に参加して

7月24日から25日にかけて東北食と農の見学交流会が、秋田県大潟村に於いて開かれました。東北各地から95名が参加し、山形からも食・農部会のメンバーが4名参加しました。感想が届きましたので、紹介いたします。



しっかり食までつなげていきたい

(株)山形ピッグファーム 代表取締役 阿部 秀 顕

今回、他用と重なりこの交流会に当初は参加できない予定でした。結果として無理をして参加して良かったなと感じています。大体のことはそうなのですが、行ってみたい、参加したいよりも義務感や責任感からその優先順位を決めてしまいがちに安易さに反省しました。前回は食と農の交流会を山形で開催し、多くの東北の仲間たちに集まっていただき、勉強し、研鑽し、盛り上げていただきました。その御礼返しもありの参加でした。

見学研修の中では特に大潟村の干拓について学び、小学校の教科書で勉強した干拓と農地作りを目のあたりにしてスケールの大きさに驚かされました。当時の入植者たちの夢に満ち溢れた開拓スピリットは今でも引き継が

れ2世、3世がいきいきと農業に向き合っている感じでした。

後の講演で松橋さんが農産物を売るのには物理的距離よりも精神的な距離を大事にしていきたいと述べました。まさに、初代が切り開いた土地を時代とともに変化させ、農業を1歩進んだ形にまで進化させようとする経営者としての決意を見せていただきました。

また一方では農業を楽しみながらやっている様子は若い人たちも農業にもっともっと身近なものにして食と農をつなげたい意思が感じられました。我々も農業を事業としている者としてしっかり食までつなげていかなければならないと改めて感じた研修会となりました。

得意分野を生かしチャレンジする農業に学ぶ

(有)半澤鶏卵 代表取締役 半澤 清彦



八郎潟・・・小学校の教科書に載っていたことを思い出す。確か、埋め立てて田んぼにしたんだっけ？隣の県なのに、そんな風にしか捉えていなかった。行ってみてもせいぜい秋田市内まで。その先の八郎潟は殆ど興味がなかったのである。

大潟村の博物館で説明を聞いて初めてその特異な地域性を知ることができた。まず埋立地ではなくて干拓地であること。周囲52キロメートル、15000町歩の広大で肥よくな土地。平均7.2倍の競争率で全国から意欲のある人々が集まった。10町歩で約3000万円と、昭和42年頃の価格としては決して安くはないと思われるが、とても肥よくな土壌はそれを危惧することはなかったようである。現在も所得は県内でも有数であるとのことだ。

見学企業や報告者のお話では、現在は入植後2代目3代目の若者の時代になっており、環境の変化の真ただ中、6次産業化や農産物の高付加価値化に挑戦し、地域や企業との連携で益々魅力のある農業を展開している様子が伺い知れた。秋田を代表する、日本を代表する大潟村の、それぞれ独自の得意分野を生かしながら常にチャレンジ続ける農業に学ぶところは大きく、とても有意義な見学交流会でした。

6次化を積極的に進めて

(有)アド・プランニング越前屋 代表取締役 越前屋 忍



この度の食と農の交流会の感想は6次化を積極的に進めている傾向が強いと感じました。私は食というこの重要な課題は決して軽んじられるものではないと思います。生きること、食を支えているという誇りがとても大事だと思いました。農業に携わる方々はこのことを理念とするべきだと思いました。また、生産している姿を消費者

に見せ、どのように生産しているという状況を常に見せることだと思いました。

今回の見学会、報告の方々はこのポイントをしっかりおさえて、経営されています。これから今の状況ですと消費者が減少し、消費も落ち込んで来ることは間違いありません。また、地域を発展させていく上で販売、広告宣伝、包装形態、デザイン性など連携をして行くことがとても重要かと思いました。これもひとつの6次化だと思いました。

余談ですが、私も秋田県出身です。八郎潟歴史はとても新鮮でした。農家の方を見学する上ではこの歴史を学んでからお話をお聞きするというのはとても良かったと思います。

また、秋田同友会の各会員の方々準備に相当長い時間をかけられたと思います。とても有意義な交流会となりました事を心から感謝いたします。

自立型農業の実践にふれて

斉加商店 代表 斉加 義三

今回の交流会は国策として干拓により作られた村、秋田県大潟村にて開催されました。

私は今回参加させて頂き、多くの刺激を頂く事が出来ました。

それは、先ずこの地の農業生産者の皆さんがとても元気ということです。干拓地というのをじっくり見るのは初めてでしたが、驚くほど広大で、かつ自然の力で肥沃な土地を生かし大規模営農にて、しっかりと収益を上げ、まさにこれからの“日本の農”にあるべき自立型農業を実践している点を見学できたからです。

今回は見学、報告と3名の生産者の方々を中心にお話をお伺いしましたが、(株)正八さんは秋田を基盤としながらも農業に於いての東北の弱点でもある冬場の対策のひとつとして県外での生産も取り組んでおり、また後継者の育成にも研修生の受け入れなどを通じて取り組んでおられました。

黒瀬農舎さんは無農薬の米を中心に生産、村内で(有)ライスロッジ大潟という販売会社を設立し、思いのこもった農産物の生産から販売まで一貫して行う体制を構築されており、消費者や消費者に近い所での販売を展開する事で、価格を自分たちで決められるという点も大きなメリットと語っておられました。

報告例会でお話頂いた、松橋ファームさんは東京での飲食店、消費者への直接販売に取り組まれておりますが、SNS等を活用し“食べる人同士が繋がる農業”を目指しており、“真に豊かな食”に貢献する素晴らしい報告を聞かせて頂きました。

3者皆さんの共通点は、皆さんの元気、明るさは明確なビジョンがあるからこそ生まれるのだと感じました。課題も山積との事ですが、人と人との関わりを大切に、地域に支えられる企業を目指す姿勢が周りの人にも勇気、元気を与えている、そんな印象を受けました。また“食に携わる”企業の皆さんと交流できたことで、自分自身その責任、誇りを再確認させて頂いた実り多き交流会となりました。



『山形を元気にする企業家に学ぶ』を終えて

テーマ： ホンモノの地域貢献と地域活性とは何か

地域活性委員会 大場賢二



5年目を迎える2014年度の山形大学の連携講座が8月9日をもって無事に終了致しました。改めてご協力頂きました金融機関様と同友会の皆様に厚く御礼申し上げます。そして福島先生、今年も情熱の溢れる授業をありがとうございました。

この授業は学生たちが1年生の時期に「地域と共に発展を目指す同友会会員企業との学び合いを通して「生きる・働く・地域を愛する」とは何かを考え、在学中に主体的に生きる姿勢を身につけること」を目的としています。企業側としても山形の中小企業の魅力を知っていただく場であり、未来の地域を創る人材育成にもつながる絶好の場でもあります。期間は5月～8月までの間で行われ、講座は3つのパートに分かれています。1つ目は、大学で同友会会員の講演を聞きグループ討論を行う授業(3回)、2つ目が同友会企業への現地視察授業(2回)、3つ目は学生たちが各支部例会や総会へ参加する授業となっています。今年度の大学の講演は、社会保険労務士の西塔代表社員、東住宅産業の白鳥常務、菊地技研の菊地社長にお話を頂きました。現地視察は、田宮印刷の工場見学と阿部常務の講演、そして東日本大震災の被災地である陸前高田市の高田自動車学校で田村社長の講話、一関にある八木澤商店の河野社長から、被災後の経営の厳しかった時をどう乗り越え、これからの方向と夢を語っていただきました。そして各支部の例会・総会への参加は例年にないくらい多数の学生のエントリーを頂きました。いずれも経営者たちと直接話を出来る場が設けられ、同友会さながらの熱い討論が繰り広げられました。

学生たちの成長

正直、5月の最初の授業では、あどけなさの残るおとなしい真面目な学生でしたが、授業の回数を増すごと

に、率先してグループリーダーや報告者の役割を引き受ける姿がそこにありました。授業そのものが実社会を意識したものとなっているため、自発的に授業に参加しなければ何も学べないものとなっています。そして8月の最後の授業では、「自らの生きる行動理念」をつくり、目をキラキラさせながら発表する姿は頼もしさを感じました。



学生に学ぶ

今年も学生の学ぶ姿勢は非常に素晴らしいものでした。一言で表すと謙虚でありながら積極的な姿勢。謙虚な姿勢には、関わる人から素早く要点を引き出せる力があります。

ついつい企業人の私も、助言しすぎて学生の考える力をスポイルしてしまう場面もありました。この授業を通して学生たちには、改めて「新たな事への挑戦と学ぶ姿勢」を学ばせて頂きました。

最後になりますが、この授業は福島先生の学生と地域に対する熱い思いがあつてこそそのものと感じています。この講座を受講した学生たちの中から、未来の地域を支えるリーダーが沢山創出されることをご祈念いたします。



第1回増強月間 23名入会! ~全支部で新たな仲間を迎える~

2014年度山形同友会では、「あてにされる同友会になろう」の重点方針のもと、485名の組織目標を掲げ、組織委員会を発足させ、会員増強に取り組んでいます。

7月は第1回目の「増強月間」として、全支部で取り組み、新たな仲間を23名迎えることができました。

この間、理事・支部幹事が中心となって入会対象者のリストアップを行い、例会へのワングスト運動や訪問活動を展開。毎週金曜日には各支部の支部長が組織委員長に取り組み状況を報告し、情報を共有しながら活動してきました。その結果、全支部で新会員を迎えることが出来ました。

安藤委員長よりメッセージが届きましたので、ご紹介いたします。

支部名	支部目標	月間入会者	8月末会員数
山形	245	5	214
寒河江	60	4	54
さくらんぼ	60	8	55
置賜	50	3	45
庄内	70	3	53
合計	485	23	421

同友会会員が増えれば、元気な地域になる! 組織委員長 安藤昌則

5年前の全国行事である山形県で開催された「第38回青年経営者全国交流会」の時に続き、二度目の組織委員長を仰せつかった安藤でございます。

7月に各支部で取り組まれた「第1回増強月間」では、会員の皆さまにご協力をいただき、全支部で新しい仲間を迎えることができました。ご協力ありがとうございます。



さて、私が同友会に入会した時の山形同友会は、100名弱でしたが、私にとって経営のターニングポイントになったのが同友会です。20年前のあの時に「強引に同友会に誘って頂かなかったら」今日までの会社も私自身の成長もなかったと思っています。

同友会に入会してから何回かの例会に参加し、いろんな経営者の体験報告を聞くことが、私の学びになりました。同友会の理念に3つの目的があります。「良い会社をつくる。良い経営者になる。良い経営環境をつくる。」に共鳴したことを昨日の様に思い出されます。先輩方の経営報告を聞くたびに、私もいつかあんな経営者になりたいと強く願ったものでした。

赤裸々に自社の事を語る先輩に「何で苦労して学んだであろう知識をいとも簡単に話すのですか?」と。その先輩は、「報告することで自分が一番学びになるのだよ。」と言われました。しかし、当時は納得できないまま聞いていましたが、最近ようやく理解できるようになりました。

入会動機はいろいろあるでしょうが、多くの方は「もっと良い会社になりたい」「もっと良い経営者になりたい」と思い、入会されたのではないのでしょうか。折角、同友会に入会されたのですから、同友会活動にもっと積極的に参加され自社経営に活かして頂きたいと思います。そして良い会社。良い経営者が増えれば雇用が生まれ、必ずそこには良い地域が出来るはずですよ。

行政も金融機関も大学も真面目に経営を勉強する会として認めているのが「同友会」であり、山形新聞においても事ある度に同友会活動を記事にするようになりました。現在、対外的な注目が出てきましたが、それは地道な活動の結果であります。

皆さんの近くの経営者に是非同友会の存在を知らせて下さい。新しい会員を交えた例会は、新しい学びが必ずあります。自分たちの地域を元気にする為にも、会員一人ひとりが真剣になって同友会を伝えてもらえませんか。ご紹介頂いた方には、私が責任もってフォローさせていただきます。

山形同友会の仲間をみんなで増やし、元気な山形県にしていきたいと思います。また、これからの増強にお力をお貸し下さい。

「第12回経営研究集会」のお知らせ

スローガン **地域・仲間・社会と共に中小企業の発展をめざそう**

「第12回経営研究集会」実行委員会では、大場賢二実行委員長のもと、準備を重ねております。開催要項が決まりましたので、お知らせいたします。

当日は、基調講演と「経営指針」「社員共育」「地域活性」という三つの分科会が開かれます。全県の会員の皆さまが集うこの機会に学び合ひましょう。

皆さまのご参加お待ちしております。

日時 **2014年11月18日(火)** 13:30~20:30

会場 **ホテルメトロポリタン山形**(山形市香澄町1丁目1-1)

参加費 **第1部~第2部 2,000円**

第3部(懇親会) 5,000円

タイムスケジュール

受付13:00~

第1部(基調講演) 13:30~15:20

第2部(分科会) 15:35~18:50

第3部(懇親会) 19:05~20:30

基調講演

魅力ある地域と企業づくり~ニセコを世界ブランドに変えた男~

講師:本田興業(株) 代表取締役 本田 哲氏(北海道同友会)

分科会

【第1分科会】 経営指針

本当の意味で社員と想いを共有するとは~経営指針書は誰のためのもの~

報告者:(株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司 薫氏

【第2分科会】 社員共育

「任せる」「認める」人材育成「幸せづくりの出来る会社」をめざして

報告者:(有)笹木製作所 代表取締役 笹木浩二氏

【第3分科会】 地域活性

中小企業振興条例で地域内循環を高める

報告者:本田興業(株) 代表取締役 本田 哲氏(北海道同友会)

新会員紹介

◎大場 純一氏

(株)ジョインセレモニー 係長
業種 冠婚葬祭業
山形支部

◎加藤 洋一氏

BROS.41 代表
業種 総合建設業
山形支部

◎庄司 深雪氏

(株)パティシエール・シヨージ
代表取締役専務
業種 菓子製造販売業
山形支部

◎中村 優氏

(有)ベストワーキング 代表取締役社長
業種 青果物、生花、パッケージ業
山形支部

◎鈴木 亮仁氏

(有)鈴建 取締役専務
業種 サッシ工事業
寒河江支部

◎武田 大介氏

デ.ジョワ 製造部長
業種 菓子製造販売業
寒河江支部

◎武田 祐幸氏

そば処 七色 店主
業種 飲食業
寒河江支部

◎増子 俊司氏

古美術ギャラリー瑞穂の郷
館主
業種 骨董商
さくらんぼ支部

◎渡部 大吾氏

(株)大匠エンタープライズ 代表取締役
業種 建築工事一式、解体工事請負
置賜支部

◎金野 隆行氏

(株)ARROWS 代表取締役
業種 自動車の買取・販売・整備業
庄内支部

◎齋藤 晃氏

ヴィクトリィ・オート(株) 営業課長
業種 自動車販売・整備
庄内支部

◎福田 博臣氏

旬菓処福田屋 代表
業種 和洋菓子製造販売業
庄内支部

支部・会員名・
企業名・役職変更

●山形県 ITC 協同組合(山形支部)
代表理事 屋島正機氏→横倉正教氏に変更

9月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

後継者としての決意と覚悟

～地域と共に成長する、魅力ある企業を目指して～

2014.9.16(火)18:30～

場所：山形テルサ 1F 大会議室
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

報告者：大場印刷株式会社 常務取締役 大場賢二氏

後継者として平成6年に入社、当時は大手企業や官庁の仕事が山ほどあり、目の前の仕事をこなすのが精一杯状態でした。しかし、取り引きしていた大手企業の経営破綻で売り上げが低迷、一社依存の受注体制の怖さを身をもって実感しました。そんなときに同友会と出会い「経営指針をつくる会」を受講し、これまで漠然とした中で経営をしていたことを気づかされました。今年から経営指針の発表、そして実践して気づいたことは「経営者の志がいくら高くても、現場で仕事をする社員に気持ちが伝わらなければ意味が無い」ということ。現在の実践の取り組みやそこからの学び、それに第12回経営研究集会の実行委員長でもある大場常務が考える、企業の社会的責任に対する思いを報告します。奮ってご参加ください。

庄内支部

“課題を抱えた人”とは？

～共に生きる社会の実現に向けて～ 福祉の現場からの報告

2014.9.17(水)例会開始18:30～

場所：鶴岡市総合保健福祉センター『にこ♥ふる』
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者：特定非営利活動法人鶴岡福祉村
障害者支援オフィス「ひので」
副理事長 佐藤博幸氏

ちょっと聞きなれないテーマかもしれませんが、“課題を抱えた人”と言われてピンときますか？実はその人は自分の身近にいるかもしれません。自らも障害を持ちながら福祉の第一線で活躍する佐藤博幸氏の報告をもとに、自社の社員やお客様の“課題”を探り、企業として“課題を抱えた人”にこれからどのように関わり、福祉を通じた社会貢献について考えられる気づきとなる例会です。ご多忙のところかと思いますがゲスト参加も含め多くの皆様からのご出席をお願いいたします。

寒河江支部

仕事に遊び心を持っていますか？ 遊び心大事にしていますか？

2014.9.19(金)19:00～

場所：串揚げ寒河江だるま
寒河江市南町2-4-2 ☎0237-85-1801

報告者：株式会社ツーリスト 代表取締役
合同会社サイキ 代表社員 菅田則之氏

インターネット販売の旅行がますます増えていく旅行業界にあって、昨年12月に「合同会社サイキ」を立ち上げて飲食店をオープン。なぜ、異業種の飲食業に？そこには、地域を愛する菅田社長ならではの思いと旅行業を活かす数々の「しかけ」があります。

そしてスタッフは、技術を活かせずにいた職人さん、退職した方、パスガイドさん。以前とは別人のようにイキイキと働いています。「ひらめきの源泉は遊び心。自分が出来る事は限られている。みんなの力を借りながら地域活性化の起爆剤になればいい」と語るアイデアいっぱいの菅田社長の報告に学び合います。

置賜支部

自社の経営課題は何か！

～企業変革支援プログラムの活用で会社を変えよう～

2014.9.25(木)18:30～

場所：伝国の杜
米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

会社を変えるには、自社の立ち位置を確認し、課題をつかむことが必要です。

置賜支部9月例会では、昨年に引き続き「企業変革支援プログラム」を活用します。昨年と比較してどう変わったのか？5つの項目でセルフチェックしながら会社の現状を明らかにし、経営課題の抽出をめざします。

「企業変革支援プログラム」には、「よい会社」「よい経営者」についてのガイドラインが示されています。この機会に自社を見つめ直し、変革のきっかけにしましょう。お誘いあわせの上、ご参加ください。

さくらんぼ支部

クルマ好きでない私が、クルマ屋をついだわけ ～同友会での学びで変わった私と、変わった会社～

2014.9.26(金)18:30～21:00

場所：タントクルセンター 2F 視聴覚室
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者：(有)大山ボデー 専務取締役
佐藤知志氏(庄内支部長)

小さい頃からあまりクルマのことは好きではなかった。しかし、高校生の時に「クルマを通して人と関わっていける仕事」と思い、継ぐことを決意する。大学で経済学を学び、その後専門学校にてエンジニアの知識を得る。ディーラー勤めを5年半経験し、30歳で家業を継いだ。

当時、会議も目標数字もない。社員が向いている方向もバラバラの現状に唖然とした。この社風を変えるには、「相当な時間がかかる…」そう思った。

入社4年目に経営指針セミナーを受講し、思いを成文化し社員に伝えた。そこから徐々に自分も社員も会社も変化していった。今、リフレッシュ休暇の導入や飲み会にケーション委員会、5S委員会などの活動を社員主導で行い、働き甲斐のある会社づくりをおこなっている。

家業を継いで今期で10年目。新たなスタートをきった佐藤専務が熱い思いを語ります。

第5回理事会報告

◆日時:2014年8月12日(水)16:00~18:00 ◆会場:同友会事務局

◆出席:西塔、青柳、後藤、齋藤、阿部(秀)、安藤、若木、水沢、奥山、庄司、菅原、大場、川合(順不同敬称略) ◆事務局:伊藤、矢作、高橋

齋藤専務理事が議長を務め、下記の議事をすすめました。はじめに、西塔代表理事より、休み前の参加のお礼を述べ、「理事会で積極的に発言してほしい。理事会の問題は理事会で解決しよう」と述べました。

■報告事項

- 1)第46回定時総会in新潟(7/10~11)(参加者レポート)
- 2)東北食と農の見学交流会(7/24~25 秋田)4名参加 (阿部秀顕理事)
- 3)東北ブロック共同求人担当者会議(8/8 宮城同友会)3名参加(後藤副代表理事)
東北6県より計18名が参加し「地域に若者を残し、地域全体で若者を育てる」運動と「東北の連携」について熱心な議論がされた。
- 4)第1回山形大学インターンシップの取り組み(8/2~7)(越前屋理事)
今年度はじめての取り組みで、会員企業13社 大学生20名を受け入れた。
- 5)「憲章・条例」学習会(7/18)50名出席 (越前屋理事)
- 6)条例制定運動の取り組み状況
 - ①米沢市 第1回条例検討委員会開催
(同友会より佐藤社長出席 文書報告)
 - ②天童市 天童市議に依頼。7/23条例学習会に参加 (奥山理事)
 - ③村山市 7/10意見交換会開催
(さくらんぼ支部より5名、村山市議10名出席)
他に河北町、新庄市、東根市、中山町にも働きかけている。
- 7)北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会 収支報告(伊藤事務局長)
- 8)事務局員の個人的な活動について (齋藤専務理事)
・事務局員の個人的な活動は同友会活動に支障の無いようにする。
・所定労働日に事務局員が個人的な活動をする場合、事前に有給休暇届出等の申請をし許可を取るものとする。
- 9)事務局夏季賞与の支給について (西塔代表理事)
予算どおり、8月8日に、西塔代表理事より現金支給した。
- 10)山形刑務所社会復帰の講義依頼の件 (西塔代表理事)
経営との関連が薄く、辞退することとした。
- 11)30周年記念事業計画について (及川副代表理事)
主な事業計画と方向性について説明し、具体的には実行委員会で作成する。
- 12)2014年度7月月次決算報告 (伊藤事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会12名、退会3名 8/12日現在 421名

■討議事項

議題1:第1回増強月間の取り組みのまとめ

- 1)7月増強月間の成果と教訓
安藤理事より、7月増強月間の取り組みで、さくらんぼ支部の8名入会が牽引役となり、全支部で成果があったと報告。6月11名、7月11名入会。
 - ①新会員オリエンテーションに新会員6名が出席し、「もっと早く入会すればよかった」「ビジョンの必要性を実感」などの感想が寄せられ、継続して開催して行くことを決定。8月27日(水)午後2時~午後4時30分に開催予定。
 - ②増強月間中に、仲間づくりニュース(週報・速報)をFAX送信し、全会員に活動の取り組みをお知らせし、増強の気運を高めてきた。

週報のFAX送信費が高く、次回からe.doyuを利用する。

③組織委員会予算(通信費、パンフ作成費用等)は、次回理事会に提案する。

2)支部所属の件

各支部規約には、支部設立時の時代背景もあり、所属範囲が曖昧になっていることから、見直していく。

3)最上支部(仮称)立ち上げについて

責任者に齋藤専務理事となり、2015年6月に会員数20名で立ち上げる予定。

支部立ち上げの趣意書を作成し、金融機関等に協力をお願いし、核となる人の入会を勧めていく。

議題2:第12回経営研究集会の件

実行委員長の大場理事より、7/29~30日にニセコ・本田興業さんを訪問し、ニセコの街並みや本田社長の「地元愛」を強く感じたこと、基調講演と第3分科会の報告を引き受けていただいていたことが報告された。

開催要項(案)、目的、スローガン、参加目標230名の提案があり承認された。予算(案)については、実行委員会で検討、次回決定する。

議題3:「外形標準課税適用拡大」反対への取り組みについて

西塔代表理事より、山形同友会の反対の想いを広く伝えるために、山形新聞「私の主張(西塔代表理事記)掲載のための購読拡大の協力依頼があった。同友会として、10名の読者を増やすために協力依頼があった。

議題4:理事会の運営について

西塔代表理事より、9月理事会から理事の体験報告(10分)を取り入れる提案があり、承認された。◎第1回報告者:越前屋理事

議題5:事務局諸規定の件

西塔代表理事より提案があり、意見のある方は事前に齋藤代表理事、あるいは事務局まで提出することとなった。

■その他

1)理事会の懇親会の開催について

9月理事会終了後に懇親会を開催する。

2)中同協関連行事

- ①中同協 第1回常任幹事会(8/21 13:00~14:45)西塔代表理事
- ②中同協 組織強化全国交流会(8/21~22)西塔代表理事、安藤理事
- ③中同協 第1回社員教育委員会(8/22)阿部理事
- ④中同協 第1回経営労働委員会(9/4~5)赤塚副委員長

3)事務局夏季休暇の件 8/13~15(有給休暇をあてる)

4)経済産業省東北経済産業局主催の、「おもてなし経営推進フォーラム」(9/5)の案内と山形同友会が後援することを確認した。

5)他同友会報告依頼の件

- ①第28回 広島県経営研究集会(11/15 土)
ソーラーワールド(株) 社長 武内賢二氏
- ②神奈川同友会 横浜支部例会(11/19 水)
尚鏡堂店 社長 鏡芳昭氏

6)第6回理事会の開催日程について

- 日時:9月10日(水)午後4時~午後6時
- *終了後、懇親会開催。会費:5000円
- 会場:ひまわり温泉 ゆらら(中山町)

■閉会挨拶 青柳副代表理事

同友やまがた9月号(2014年9月1日発行/通巻258号)

From Editor

★山形大学との2014年度の連携授業が終わりました。1年生中心に学生約30名が受講し、経営者とのグループ討論が新鮮です。大学での授業では大学生主導で、グループ編成・グループ長・発表者をその場で決めるルールです。同友会会員の報告を受け、グループ討論が2回行われ、「あなたの夢は何ですか、社会で何を実践し人生において何を達成したいですか」「あなたの人生の経営理念は何ですか」が当日のテーマ。★社会人の我々も、何を信念に生きてきたかを振り返り、考え、発言します。18年の人生経験の彼らが実に素直に真剣に考え、自分の意見を発言する姿勢は真剣勝負。生き方を考え、新たな自分の可能性を見つける授業です。★7月、高田自動車学校(岩手)での授業の演題が「嫌になるけど頑張る

ぞ」。「嫌になるけど」の意味を考えてほしいと田村社長が学生に問いかけます。東日本大震災後、地域の再建、復興の提案をしても提案しても跳ね返され続けてきた経験からでした。それでも発言し続けなければ町はなくなってしまう、街並み計画よりも地域に人を残すことが重要だと。★新たな産業を作り、雇用を生み出す「なつかしい未来創造株式会社」の取り組みが紹介されました。「自分のことしか考えない政治家が多いのに、年齢がかなり高い田村社長は、なぜ、ずっと未来を考えるのか」と学生の質問。「先を見ているようで、今を見ている」「未来を考えることは、今を考えること」が答えです。未来を変えるには、今を変えるしかないのだと一人ひとりが胸に刻みました。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp